



Gold-QPD 実績のお知らせ

- 高齢者の「ケア」と「キユア」を担う「キューピッド」鍼灸師 -

TOPICS

【第4回認知症 Gold-QPD 育成講座・公開講座セミナー開催】

平成25年1月19,20日 日本医科大学新丸子校舎講堂（武蔵小杉）において第4回認知症 Gold-QPD 育成講座が開かれた。その2日目に公開講座セミナー（平成25年1月20日）が開催され三焦鍼法が認知症に顕著な効果を示唆する報告がなされて、セミナーは最高潮に達した。

血管性とアルツハイマー型認知症患者さんは以下のような共通の好反応を示した。

初期効果（施術5回未満）としては頭がすっきりする、身体が軽くなり気持ちよい、が最も良く聞かれた。笑顔を見せる、冗談と昔話をする等が見られるが次に続いた。

中期効果（施術5回から13回未満）としては、鍼灸師の顔覚え、覚醒レベル上昇、受け答えの言葉が豊富になる、話のキャッチボールができるようになる、尿意便意がわかるようになるケースもあり体調がよくなり徘徊や暴力性の緩和などがみられた。

認知症は現在の医学では治せないといわれる。しかし、鍼灸マッサージ指圧そして人格を尊重した接遇など総合的アプローチをすることで周辺症状の緩和、QOLの向上をはかることは十分に可能だと思われた。

鍼灸治療にはご家族、キーパーソン、施設スタッフ、医師、看護師、介護福祉士、ヘルパーなどの理解と協力が不可欠であること、将来的には鍼灸を統合医療のなかに組み入れることが肝要でそのため鍼灸師自身が積極的に効果的鍼灸治療を検討する必要があるとみなされたことである。

公開講座セミナーで日本医科大学の田尻孝学長ご挨拶



公開講座セミナーの基調講演 (天津中医薬大学の韓景献教授)



症例報告のパネリストを囲んでの総合討論



左から原、青木、矢野、武田、今、木村の各氏

第4回認知症 Gold-QPD 育成講座受講者とセミナーでの報告者一同

